

精密う蝕・歯内治療

「できるだけ歯を削らない、神経を抜かない、歯を抜かない」皆さんの歯を守るために当院ではマイクロスコープを用いていわゆる虫歯のう蝕や神経の治療を行います。マイクロスコープを用いることにより、肉眼で行なっていた手探りや勘に頼っていた治療からより確実に精密な治療ができるようになります。むし歯治療においては、歯を拡大して虫歯に罹患した部位のみを極小の器具を使用して削ります。その手技は健全な歯質の保存に繋がるため、詰め物は小さくてすみ、神経の保存さらには歯の保存に貢献します。

また、むし歯が進み神経が感染したり、歯の根の尖に膿ができたりにした場合に根管治療が必要になります。根管は非常に狭く、複雑性に富んでいるため細心の注意を払っての治療が必要とされます。根管内の細菌や感染物を確実に取り除き、無菌化を達成させるためにはマイクロスコープの使用は必須となります。根管治療の成功は、被せ物や歯の寿命に直結します。抜歯を避けご自身の歯で食事ができることは、健康に過ごせること、さらには認知症予防の手助けとなります。



歯内治療の流れ（全てマイクロスコープを使用します）

ラバーダム防湿	治療する歯に金具をつけ、ゴムのシートをお口に張ります。 歯の根に唾液が侵入するのを防いだり、使用する薬剤がお口に漏れたりするのを防ぎます。
↓	
う蝕や被せもの除去	詰めてあったり被せてあったりする金属などを削って取り外し、同時にむし歯をきれいに取り除きます。
↓	
根の中の神経や詰め物を除去	感染した神経を取り除きます。 すでに神経が抜いてある場合は、根に詰めてある材料を取り除きます。
↓	
クリーニングと根管形成	数種類の薬剤を用いて根の中を洗浄します。さらに超音波による洗浄を行い、徹底的に細菌を叩きます。次に行う根管充填のためにきれいに形作りをします。
↓	
根管充填	炎症も治まり、きれいになった根管に隙間がないように詰め物をします。
↓	
X線を確認	充填が根の先までしっかり詰まっているかレントゲンで確認します。
↓	
支台築造	冠を被せるために土台を作ります。



治療期間・回数

治療期間	1ヶ月～2ヶ月
治療回数	2回～4回

※上記は通常例です。

主な費用（税込）

レジン充填	小さなむし歯の場合に、歯の色に合った樹脂を詰めます。	44,000円
歯内診査診断料	マイクロスコープ下で破折などの確認をします。	33,000円
抜髄処置	感染した神経を抜きます。	143,000円 ～220,000円
感染根管処置	既に神経の処置がされており、根の尖に膿ができた場合に行います。 CT撮影、仮歯の料金は含まれます。	143,000円 ～220,000円
支台築造	お口の中で直接冠の土台を作る場合です。	33,000円

リスク・副作用

- 治療後に痛みや腫れがでる場合があります。
- 長期的にみると、神経がない歯は、神経がある歯に比べると歯根破折が生じやすいです。
- 歯根破折防止のため、神経を抜いた歯は冠を被せます。